

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅱ		実習	福林 秀幸・坂東 恵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法士にとって必要な検査項目の中に徒手筋力テスト（MMT）がある。近年の臨床実習において、これら技術の拙劣についての指摘を多く受ける。本年度においては、この問題に対処すべく、また、前期に行った解剖学実習Ⅰ（筋・骨格系）の応用の意味も含め、1年次後期のカリキュラムへ組み込み、また、実技を充実させることにより、早期技術習得、実技練習時間の確保を図る。				
授業の到達目標				
基本的な徒手筋力検査法や検査を実施するに当たっての注意事項を学び、検査対象者の筋力を測ることに於いて、正しい検査結果を導き出すことが出来るようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション/総論			
2	検査部位 肘関節			
3	検査部位 肩関節			
4	検査部位 肩関節 肩甲骨			
5	検査部位 肩甲骨			
6	検査部位 前腕 手関節			
7	検査部位 手指 前半まとめ			
8	検査部位 股関節			
9	検査部位 股関節 膝関節			
10	検査部位 膝関節 足関節			
11	検査部位 母趾 足趾			
12	検査部位 体幹 呼吸			
13	検査部位 後頭部 頸部			
14	検査部位 顔面			
15	まとめの演習			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%	70%が実技試験 20%が筆記試験		
レポート				
小テスト	10%	基本的に授業開始時に毎回行う		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学	内山靖 編		医学書院	
新・徒手筋力検査法 原著第9版	Helen J. Hislop 他著		協同医書出版社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
授業の中だけではなく各自、実技練習を行うようにしてください。				